

世界に開かれた大学として、社会に、そして地球社会の調和ある共存に貢献するという本学の基本理念のもと、多様な研究から生まれた卓越した「知」を社会に伝え、社会が抱える多面的かつ複雑な諸問題の解決に取り組むため、京都大学は産官学連携活動を推進しています。

産官学連携本部 [www.saci.kyoto-u.ac.jp/](http://www.saci.kyoto-u.ac.jp/)

未来創造と社会課題解決を目指して、京都大学における産官学連携事業活動の総合的マネジメントを推進しています。また、京大グループ会社や学内連携組織とも連携して活動を行っています。

オープンイノベーション機構 [www.oi.kyoto-u.ac.jp/](http://www.oi.kyoto-u.ac.jp/)

全学の研究テーマをベースに「組織」対「組織」の本格的な大型共同研究を企画し実施する研究拠点です。産官学連携本部、京大グループ会社と互いに連携し、共同研究を集中的にマネジメントすることにより、産業界との協働によるイノベーション創発活動の成果を社会に還元します。

「京大モデル」の構築

京都大学では、本学の理念・経営方針の下、産官学連携本部と子会社が有機的に連携し、大型事業、新事業の創出を目指す「京大モデル」を構築しています。「京大モデル」では、京都大学において創出された「知」を社会につなげ、「価値」の最大化、「収益」の還元を行い、教育研究活動を活性化させます。また、オープンイノベーション機構がプロジェクトの実行を担うことにより「京大モデル」の実効性を高めます。



取組例：北米に設置されたOn-site Laboratory「京都大学サンディエゴ研究施設」を中心として、医学・生命領域の先端的な医薬品シーズ等を産業界と連携させ、研究成果の社会実装を支援することを目的とした北米法人CAMPHOR TREE, LLCを設立。

知的財産の活用

研究成果の実用化を促進するため、発明届出時の段階から学内外の関係組織と連携し、知財支援等の活動を推進しています。

令和3年度 知的財産活用件数 **260** 収入 **998,479**千円

ベンチャー支援 — 研究成果の社会還元を促進 —

研究成果に基づき得られた特許の利用促進や学内シーズに基づくベンチャー支援を通じて研究成果の社会還元を促進することで、社会変革を促すイノベーションに貢献します。

京大発ベンチャー創出数 **242**社(令和3年10月時点累計)

地域との連携

京都大学では、京都市、京都府をはじめとした地域・機関等と連携協定を締結し、教育・研究・環境保全等様々な分野において相互に協力して、地域社会の発展と人材育成に寄与する取組を進めています。



京都大学の学術資源を活用し、京都をはじめとする地域の文化、産業等の発展と課題解決に資する社会連携を推進しています。また、フォーラム、講演会、隔地の施設公開などの社会連携イベントを通じて、社会人等の生涯学習機会を拡充しています。

公開講座・講演会・シンポジウム等

京都大学春秋講義

学術研究活動の中で培われてきた知的資源について広く学内外の人々と共有を図るため、1988年秋から開講している公開講座。年に2回、春と秋に開催。

京大の知

全国各地を巡回して京都大学の研究成果を発信することを目的とする連続講演会。毎回定められたテーマに沿って、京都大学の教員が講演。

京都大学丸の内セミナー

各研究所・センターで行っている最新研究成果の発信。首都圏在住の社会人を対象とした「大人のための高度な教養講座」として、東京丸の内まで平日夕刻から実施。



春秋講義



未来フォーラム

京都大学未来フォーラム

京都大学で過ごした学生時代の経験を活かして様々な分野で活躍する卒業生が、大学生の皆様をはじめ、各世代の皆様にも素晴らしい未来を志向するヒントとなるようなメッセージを発信。

京都大学附置研究所・センターシンポジウム

毎年1回、主要都市にて開催。特に、次世代、次次世代の中心となる中学・高校生、先生などの参加を期待。

京都大学—稲盛財団合同京都賞シンポジウム

京都大学の主催、稲盛財団の共催により、日本が世界に誇る国際賞である京都賞(稲盛財団主催)の分野を対象に、最先端あるいは現在注目される研究者等を迎えて開催。



附置研究所・センターシンポジウム



京都賞シンポジウム

京都大学の研究・教育を知る

京大ウィークス

北海道から九州まで全国に数多くある教育研究施設における公開講座、講演会、施設公開等を一定期間に集中して実施しています。

京都大学アカデミックデイ

100名以上の研究者が一堂に会し、多くの方と直接対話し研究活動をわかりやすく説明します。市民や研究者、文系、理系を問わず、誰もが学問の楽しさ・魅力に気付くことができる「対話」の場となる企画です。

上記のほか、京都大学では、京都大学総合博物館、京都大学大学図書館歴史展示室、京都大学白浜水族館などでの展示や、SDGsイベント、クロックタワーコンサートなど、一般の方も参加可能な各種プログラムを多数実施しています。ぜひご参加ください。 [www.kyoto-u.ac.jp/ja/event/all](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/event/all)



京都大学同窓会・京都大学基金

京都大学同窓会 [hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/](http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/)

会員相互の交流と親睦を図るとともに、京都大学と共に発展することを目的としています。母校に帰っていただき楽しく過ごしていただくホームカミングデイの開催のほか、国内外の地域同窓会では、講演会や懇親会を開催し、交流を深めています。

京都大学基金 [www.kikin.kyoto-u.ac.jp](http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp)

卒業生をはじめ、卒業生のご家族、企業・団体等の皆様からのご寄付に支えられ、修学支援、留学生への奨学金、若手研究者の支援などに活用しています。各種基金の目的と成果、新規寄付募集等をぜひご覧ください。